

\ よろしくお祈りします。 /

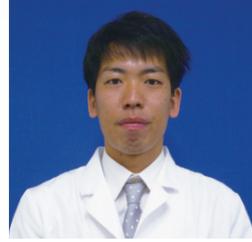
## 新任医師紹介



血液内科医師 5/1 付

おおい みずき  
**大井 水樹**

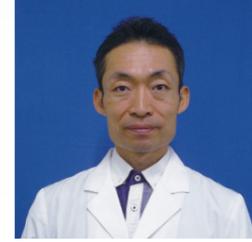
5月より血液内科に赴任となりました大井水樹と申します。地域の医療に少しでも貢献できるよう尽力いたします。よろしくお祈りします。



呼吸器内科医師 6/1 付

あらい かつのり  
**新井 健義**

新井健義と申します。専門領域は呼吸器内科で、特に肺癌診療に興味があります。松江の呼吸器診療に貢献できるよう精一杯がんばって参ります。



第一小児科医師 6/1 付

こいけ だいすけ  
**小池 大輔**

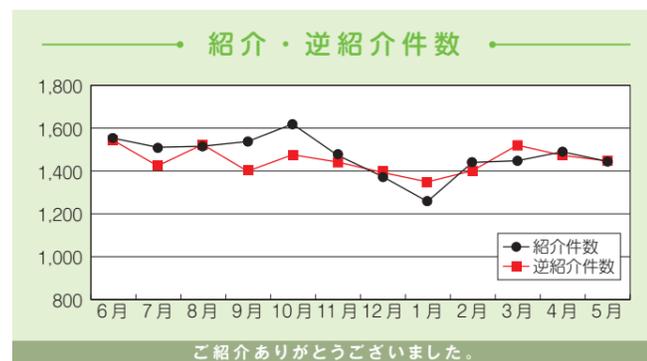
島根大学や島根県中を経て9年ぶりに戻ってきました。小児科一般、特に感染症・アレルギーに関しては学会に所属し勉強中です。ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

### 退職者

● 令和6年5月31日付

第一小児科副部長 **堀江 昭好**

お世話になりました

### 行事案内

**第18回地域医療従事者  
スキルアップセミナー**

11月9日(土)




松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地  
TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261

# れんけいだより

vol.62  
2024年8月号

## 第三外科部長就任のご挨拶

第三外科部長 **平原 典幸**



この度、島根大学医学部附属病院より外科部長として赴任してまいりました平原典幸と申します。紙面を介してとなりますが、ご挨拶をさせていただきます。

島根大学医学部を卒業後、県内外の関連病院にて修練を積んだのち、2006年に島根大学医学部病院消化器・総合外科に帰局後は食道、胃、大腸、肝胆膵疾患などのあらゆる腹部消化器疾患に低侵襲手術である腹腔鏡手術の導入を行ってきました。また、食道癌と胃癌に関しましてはガイドライン作成の基となる多くの臨床試験にも関与し、エビデンスの構築に努めてきました。近年は全国の施設と比べてもいち早くロボット手術を導入し、手術のさらなる低侵襲化を図り、その安全性と有効性を検証してきました。

松江赤十字病院赴任後は院内でロボット手術の導入に向けて話し合いをかさねた結果、年内のロボット手術の導入が決定し、松江市内では初めての消化器領域へのロボット手術が始まる予定となりました。今後は食道癌、胃癌、および大腸癌手術に対して前任地で身に付けた最先端の医療を松江の地で提供させて頂きたいと思っております。しかし、松江赤十字病院では全くの新規に導入される医療機器であるため、医師のみでなく院内の

スタッフと協力し、一つのチームとして安全なロボット手術の導入を行っていく予定です。ロボットという言葉は“冷たい響き”にとらえられがちですが、より人間に近い安定した愛護的な手術操作を行えるため、より“優しい医療”を提供させて頂くことが可能となります。今後、より高い次元の手術を行い、術後合併症の発生の軽減に努めていきます。

低侵襲手術というと傷の大きさが小さいことと思われがちですが、そうではなく手術に関する全ての合併症を軽減させてこそ低侵襲な治療(手術)と考えています。また、術後合併症の軽減が長期予後の改善につながる事が報告されており、癌治療の短期、および長期の治療成績の向上を目指していきます。

今後、高齢化社会が進んでいき、併存疾患を有する患者様も多くなっていくことが予想されます。院内のみでなく関連病院や近隣の医療機関の先生方のご指導も頂きながら、引き続き安全性を担保した、より質の高い医療を提供できるよう取り組んでいきます。

引き続き皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 第二耳鼻咽喉・ 頭頸部外科部長就任のご挨拶



第二耳鼻咽喉・頭頸部外科部長 なかむら 中村 ようすけ 陽祐

平素より大変お世話になっております。本年度より耳鼻咽喉・頭頸部外科部長職を拝命しました。鳥取市出身で、鳥取大学を卒業しました。学生時代の趣味は硬式テニスとマラソンでした。入局後は、大学病院での勤務が長かったのですが、16年前に当院で4年間勤務させていただきました。

入局年度は、臨床研修制度が始まる最後の年でした。入局当初は、忙しかったのですが、耳鼻咽喉科の耳、鼻、頭頸部の各専門分野に早くから触れ、じっくり学ぶことができたのはよかったと思います。

大学では、多くの鼻科手術や研究に携わり、鼻科手術暫定指導医の資格を取得し、手術研修会の企画や手術の指導をして参りました。当院では鼻科手術用のナビゲーションシステムが最新のものに更新される予定です。今後は、少しでも多くの患者さんに選んでいただけるように考えています。一筋縄でいかないような場合も多々あるかと思っておりますので、他科の先生方との合同手術やアレルギー診療にも積極的に関わりたいと思います。

もう1つの注目点は、甲状腺診療において、術中神経モニタリングシステムが導入されたことです。当院では手術前後の超音波検査や病理検査を用いたフォローアップ体制も整っており、より安全に周術期管理を行うことができます。めまい疾患の診療体制においては、神経内科や検査部との連携を生かし、迅速な対応を心がけます。

今後、高齢化がすすみますと、難聴や、摂食・嚥下障害の患者さんが間違いなく増加します。少子化といわれていますが、子供の疾患が減っているようには感じません。地域の皆様の健康に少しでも貢献できますように、努力したいと考えています。

松江赤十字病院にはじめて勤務するようになった当時、地域連携という言葉を知りました。当時は「かかりつけ医をつくりましょう」というスローガンが発出されて間もなかったように感じます。診療以外にもやるべきことがたくさんあることを知り、この学びは前任地でも生かすことができました。地域の医療機関の皆様方との連携は、われわれの力の源です。まだまだ教わるが多く、ご不便をおかけすることがあるかと思っております。お困りのことがございましたら、ぜひ御相談下さい。今後ともよろしくお願いいたします。



## 第64回 地域医療勉強会

5月22日・23日、第64回地域医療勉強会を開催しました。この勉強会は、地域医療従事者に向け行っています。

今回は『誤嚥性肺炎を知るものは誤嚥性肺炎を制す』と題し、呼吸器疾患看護認定看護師・特定看護師 野津栄子看護師に講義をしてもらいました。講義の内容は、誤嚥性肺炎の病態などの概論を説明したのち、口腔保清と機能的口腔ケアについて話され、誤嚥性肺炎を起こさないための予防が重要であることを詳しく説明をされました。今回の勉強会開催前にはたくさんの事業所さんから質問が寄せられていたことや、2日間で105名という多数の参加者があったことから地域で活躍されている皆様にとって関心が高いテーマであることを実感した勉強会となりました。参加者のアンケートでは「嚥下評価の観点、口腔保清や嚥

下りハビリの内容、介入のタイミングなど分かりやすく説明していただいた」「口腔ケアの大切さについて理解したことを利用者さんや家族に伝えていこうと思う」等のご感想をいただきました。今回の学びを現場で生かしていただければと思います。たくさんのご参加をいただきましてありがとうございます。

